

青森県工芸体験プログラム研究 協力事業者募集について

内 容

弘前工業研究所では、高齢者の社会参加を意識した工芸体験プログラムの開発を目指し、工芸体験調査を行っています。今年度は新たな工芸体験プログラムの開発に御参加いただける事業者を下記により募集いたします。

記

1 活動概要

- (1) 内 容：工芸体験プログラムに関する意見交換
- (2) 場 所：弘前工業研究所 研修室
- (3) 活動機関：令和7年6月～令和9年3月（月1回程度）

2 募集期間

令和7年5月26日～6月27日

3 対象者

- ・既に工芸体験を実施している事業者
 - ・今後、工芸体験の実施を予定している事業者
- ※事業者：職人、工芸品を取り扱う店舗、高齢者福祉施設事業者 等

4 定 員

5者 ※定員に達した場合には、お断りすることがありますので御了承ください。

5 申込方法

申込用紙に記載し、メール（kou_hirosaki@aomori-itc.or.jp）、
又はFAX（0172-55-6745）でお申し込みください

●担当者連絡先

（地独）青森県産業技術センター弘前工業研究所 デザイン部
担当：工藤洋司

TEL：0172-55-6740（代）

E-Mail：kou_hirosaki@aomori-itc.or.jp

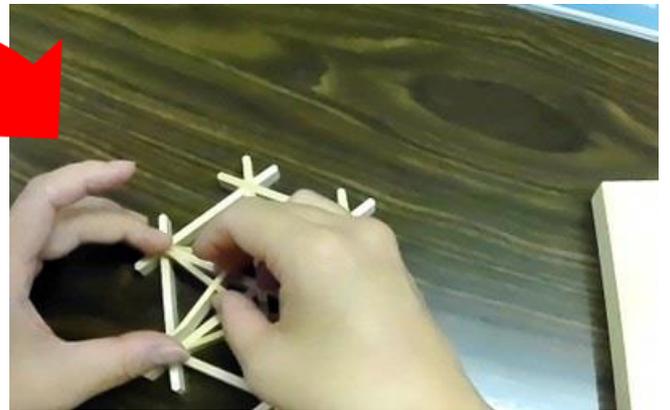
住 所：〒036-8104 青森県弘前市扇町1丁目1-8

体験プログラム研究

“手仕事で健康を”作業療法士と工芸職人が創る新しいヘルスケア

～作業療法技術を活用した社会参加型フレイル予防工芸の開発～

R6年度 工芸体験調査の様子



体験全体と手元作業について調査し、その内容を弘前医療福祉大学・八戸工業大学の協力により分析しています。今年度から協力事業者を募集し「新たな工芸体験プログラム」の開発を目指します。

※フレイルの三要素について

フレイルとは、健康な状態と介護状態の間の段階のことで、「身体」「こころ/認知」「社会性」が虚弱する3つのフレイルがあります。特に今回は「こころ/認知」「社会性」に着目し、工芸体験を活用したフレイル予防と工芸ビジネスを開発します。

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

★組織名称の表記についてのお願い

地方独立行政法人青森県産業技術センターは、県庁の組織ではありません。

地方独立行政法人青森県産業技術センターの名称を省略して表記する場合は、地方独立行政法人であることが明確に分かるよう、「(地独)青森県産業技術センター」又は、当センターの略称「青森産技」をお使いくださるようお願いいたします。

また各研究所の表記につきましても、「県〇〇研究所」ではなく、「(地独)青森県産業技術センター〇〇研究所」、又は「青森産技〇〇研究所」と表記してくださるようお願いいたします。